

セブ・プログラムアンケートのお願い

この度は CEC のプログラムにご参加いただき、ありがとうございました。

このアンケート用紙にご入力・記入のうえ、写真を数点 CEC までメール添付にてご提出下さい。

ご郵送の場合は、写真を同封のうえ、ご記入頂いたアンケートと共にご送付下さい。

薄謝ではございますが、商品券をお送りさせて頂きます。ご協力をお願いいたします。

(パソコン入力をご希望の方はお知らせ下さい。メール添付にてこの用紙をお送りいたします。)

どれだけ長くなても大丈夫です。スペースが足りなければ増やしてご記入下さい。

参加期間：2013年 8月 18日～8月 24日 / 週間

参加動機：セブに行ってみたいと思っていたから。
大学で福祉、特に孤児院や学童保育について
学んでいるから。

ボランティア活動に関して：

活動先施設の名前

マザーテレサ孤児院

具体的な活動内容とスケジュールを教えてください。時間に関してはおよそで結構です。

8:30頃 孤児院に向かってくれる女性がホテルに来てくれて、共にタクシーで向かう。途中で他の日本人ボランティアさんと別の場所で拾って行く。→ 到着と同時に子ども達と遊ぶ。→ おもちゃを片付ける。子ども達が飯を食べる場所へ連れて行く。→ 飯が自分で食べられない子の手伝いをする。→ 洗濯：風呂に入れる。活動終了

活動中のエピソード：難しかったこと、楽しかったこと、感心したこと、困ったこと等、何でもお聞かせ下さい。

子どもたちは本当に元気で基本的に皆仲良く遊んでいますが時々機嫌が悪くなり、泣いたりするとボランティアの手に訴えかける時があったので困りました。

特に子供たちと遊ぶため、又は何かを教えるために、事前に用意されたこと・教材等ありましたら、参考までに教えてください。

特に無くても大丈夫だと感じました。

生活面に関するご質問：

滞在先ホテルについてはいかがでしたか。

スタッフさんなどとにかく親切で過ごしやすかったです。ホテル内の環境は特に困ったことは無かったです。ホテルの隣で朝7時頃から夜9時から10時頃まで工事をしていてとてもうるさく、辛かったです。滞在先ホテルからボランティア先までの移動手段（タクシーでの所要時間・料金など）を教えてください。

タクシーで15分～20分程度 約100ペソ
その後少し歩いた。

食事はどのようにしましたか、料金は？

朝食はホテルで無料だった。昼食、夕食はコーディネーターさんや他の日本人ボランティアさんとレストランやファーストフードで食べたり、100～300ペソくらい。しかし量が多く1人ひとり残さないのでもともと安くできると思う。

滞在した地域でお勧めの場所は？（お店・レストラン・ショッピングモールなど）

ホテルの近くのスパが安くてスタッフさんも良い人達だった。
(200～350ペソ)

コーディネーターのセッションに関して：（○で囲んでください）

非常に良かった 良かった 普通 良くなかった 悪い

感想：本当に色々な話をしてくれ、滞在中の生活のアドバイスはとても助かりました。自分も何んでも話せたのでその日の活動のところから個人的には人生の悩みまで相談にのってくれた。後半はジョークばかり言いつけてとてもリラックスできました。孤児院での活動やセブでの観光より彼ら：会って話すことの方が楽しいと思つくらいでした。まことに毎日会いに来てくれたので帰国後非常に寂しくなった。

オプショナルツアーに参加された方へ

どこに行かれましたか？ どれくらい時間・料金がかかりましたか。

例) ボホール島1日観光 約4,000ペソ

例) カオハガン島 2泊3日 約10,400ペソ

ドゥエインのおすすめのマリバゴ ブルーウォーターズビーチに行きました。移動はレンタカーを借りて全部で1200ペソ。ビーチのエントランス fee が1400ペソ（ランチ代含む）。シュノーケリングも1人（料金は忘れました）

その感想をお聞かせ下さい。

とても素敵でビーチで人も少なく、リラックスできました。
日本人と韓国人ばかりで、
シェーケリングはあまりおすすめではないと思う

オプションのプライベート英語レッスンを受けられた方へ
レッスン内容はいかがでしたか。

どれくらいの時間数、レッスンを受けられましたか。

ホテル又はボランティア先から英語学校まで、どのように移動されましたか。料金は?

最後に、今回海外でのボランティアプログラムに参加しての感想をお願いいたします。

参加期間の1ヶ月前に申し込みをしたので、CECの方には、
急速に対応して頂き本当に感謝しています。参加が決定した
時は楽しくワクワクしていましたが、出発直前と到着後
すぐの夜は本当に来るべきだったのかと考るほど不安でした。
しかし、コーディネーターとホテルのスタッフさん、子どもたちと接して
更に見知らぬ地での生活を通してとても良い経験をさせて
もらえたと思っています。少い人として強くなりました。

是非再びセブへ行きたいです。

ご自身がフィリピンで撮られた写真など、お貼り頂き、その写真の説明文も加えて下さい。

いただいた写真は今後参加される皆さんの方に利用させて頂きます。さしつかえない範囲で結構
ですので、現地の人たちとの交流している場面などいただけましたら助かります。よろしくお願
いします。(お写真は貼り付けず同封でも結構です。)

今後このプログラムに参加する人たちの為に:

持参したほうが良いもの(生活のうえで、又ボランティア活動のために)

日焼け止め、虫よけ、虫刺されの薬
サングラス(目を守るためにも、外を歩くときに身につけていた方が
安全だと歩けると思う)

ボランティア先での心得(注意すべき点、やってはいけない事、やったほうが良かった事など)

スタッフさんやシスターともっとコミュニケーションをとった方が
良かった。そうじやゴミを食べさせると等、簡単な作業
だけでなく、おむつ替えやお風呂等も手伝うべきだった。

衛生面、食べ物、飲み物などで気をつけたほうがよいと思ったこと

とにかく米が口に合わなかった。
セブの料理は油、よく辛いや酢っぽいものが多かったので
食欲がないが、食べないと体力がめいです
体調崩しやすくなると思う。
とにかく、活動の前後は手洗いとしゃりすらことが
大事だと思う。

ご協力ありがとうございました。

ご参加時年齢: 20歳以下、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳以上

性別: 男性 女性 (該当箇所に○をお願いします。)

